



消防団通信

第11号

発行：令和2年11月

胎内市消防団予防部

発行責任元 胎内市総務課防災対策係 Tel 0254-43-6111(内線 1311)



(土のう作成)



(新入団員講習会)



(新入団員規律訓練)

【主な活動内容】

- 令和2年度は、コロナウイルスの感染拡大防止のため、ポンプ操法競技大会、方面隊訓練、秋季総合演習等中止といたしました。(毎月の各部の点検は最小人数で実施、終了後すぐ解散)
- 8月には、広い会場でマスク着用のうえ、十分な換気を行いながら新入団員講習会・規律訓練を開催。新入団員が消防団の基礎知識及び基本動作を学びました。
- 9月には、市で保管している水害時に使用する「土のう」の作成を実施。(今後定期的に実施予定) 早朝6時より、団長以下中条方面隊30名参加し、約500個土のうを作成。

【胎内市ホームページ】 消防団掲載ページをリニューアルしました！！

- 消防団の組織図、管轄エリア、団員の身分・処遇、女性消防隊員の活動照会等掲載。
- 消防団員募集PR動画

令和2年1月から令和2年10月末までの消防団員火災出動件数5件（昨年6件）

市民の皆様には、日ごろから消防団活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年の四月に団長に就任し、約半年がたちました。今年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため、計画していましたポンプ操法競技会、各方面隊訓練、秋季総合演習等は中止とし、新入団員の講習会・規律訓練のみ広い会場で換気を行いながら実施しました。

八月には、市内全ての部(54部)を対象に、消防団の現状及び今後のありかたについてヒアリング(聞き取り)調査を実施し、今後、ポンプ操法大会、年間行事の縮小、実践訓練の充実、部の再編(統合)について、検討・見直しを行い、消防団員の処遇改善をはかり、防災力の低下とならないよう団員確保に努めてまいります。

今年の一月から十月末日までの消防団火災出動件数は五件で、昨年より一件の減となっておりますが、これからの季節は暖房器具を使用する機会が増えますので、火の取扱いは十分注意していただきたいと思えます。

また、今年七月・八月の大雨で、市内多数の箇所が道路冠水、床下浸水の対応のため「土のう」積みが行われました。

今後、消防団では、市で保管する「土のう」の作成及び、地域の「土のう」設置・撤去に協力し、地域防災力の向上に努めていきます。

今後も実際の火災を想定した実践訓練や浸水被害を想定した水防訓練など各種訓練や火災予防等に努め、市民の皆様の安全と安心に寄与できるよう取り組んでまいりますので、引き続き、消防団活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。



胎内市消防団長 宮嶋 等



今年度から、中条方面隊長に就任しました横内です。本部員としては、まだまだ未熟ではありますが、団員、本部員の皆さんの協力を得ながら、市民の皆様の安全・安心のため、方面隊長という重責を全うしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



今年度より築地方面隊長に就任しました小川です。足りない部分もあると思いますが、一つ一つ経験し勉強していきたいと思っております。本部員としての自覚を持ち、団員の手本となるよう頑張ります。消防団に関わる皆様方、よろしくお願い致します。

消防団構成 (R2. 4. 1 現在)



機能別消防団員制度 (R2. 6. 30)

令和2年6月に機能別消防団員制度を導入しました。(概要は以下のとおりです。)

- 目的 全国的に消防団員は減少傾向にあり、当市でも団員の減少は続いている。過去に5年以上消防団経験のある方を対象に、「大規模災害等(火災等含む)への対応に関する業務」、「団長が必要と認める業務」の従事すべき消防事務の範囲が極めて限定された「機能別消防団員」を追加し、団員確保をはかる。
- 団員定数

消防団員定数 740名

 → 基本消防団員 700名(今までの消防団員)
機能別消防団員 40名(分団所属。各分団5名以内)
- 活動内容
- 条件等

活動内容	基本消防団員	機能別消防団員
・毎月の器具庫、積載車・ポンプ点検等	○	×
・大会、訓練、行事(ポンプ操法大会、方面隊訓練、秋季総合演習、出初め式)	○	×
・火災	○	○
・災害(大規模災害含む)、捜索	○	○

条件等	基本消防団員	機能別消防団員
【報酬】年間報酬額	17,800円	10,000円
【費用弁償】出動手当	条例による額	条例による額(左記同額)
【公務災害】消防団活動中のケガ等	対象	対象
【福祉共済】保険(掛金は市で負担)	対象	対象
【退職報奨金】在職5年以上が対象	対象	対象外

各部ヒアリング(聞き取り)調査 (R2. 8月実施)

8月に、方面隊毎に会場を用意し、各部2名(部長含む)参加し、消防団の現状及び今後のありかたについてヒアリング(聞き取り)調査を実施しました。(各部30分)

今後は、以下②について本部員(団長・副団長・方面隊長)会議等で協議し、見直しを行います。

- ①調査内容 団員の参加状況、部の統合、消防施設要望、部からの提案等(団員確保、ポンプ操法大会について)
- ②今後検討 (1)ポンプ操法競技会、年間行事の縮小 (2)実践訓練の充実 (3)部の再編(統合)